

「わくわく土曜塾」を見学しました。

7月13日(土)8:30頃、小雨の中、長門市湯本温泉のホテルに迎えに来ていただきました。今回の会場は、渋木駅から徒歩15分の廃校となった旧大畑小学校体育館でした。

長門市内の小学校から応募した50人くらいの小学生、保護者、土曜塾メンバー、公民館メンバー、ネッツ大畑(地域の市民団体)等、全体で100名くらいが参加されました。

年間20回ものイベントを企画され、今回は、ソーめん流し体験です。竹は地元の団体が切り出して準備され、まず子どもたちは自分用の器をノコギリで切って作ることから始めました。初めてノコギリを使う子が多く、教わりながら恐る恐る切っていました。1Hかけて準備をし、ソーめん流し開始です。ソーめんにトマト、キュウリやフルーツも流れ、子供たちは大喜びです。ソーめんに飽きたら、体育館の中でかき氷に綿菓子もありました。

在住の外国人の人たちと英語のお遊びもありました。最後に本日の振り返りとして、子供たちに今日楽しかったことを聞くと、多くの子が手を挙げて積極的に答えていました。



竹の器づくり。初めてのノコギリ



2つに分かれて



そうめん流し



綿菓子に長蛇の列

<わくわく土曜塾>

2006年結成。長門市中央公民館に集う社会教育関係団体を中心に、ボランティアで土曜日の子どもたちの安全確保と規範意識の醸成を図る目的で開設されています。今年度は、国際化社会に目を向け、日本語教室や市内企業と協力して、在住の外国人と子どもたちとの交流の場を設けています。